

気候変動と これから私たちの暮らし

近年の異常気象といわれる猛暑や豪雨などは、温室効果ガスによる地球温暖化を原因とする気候変動が大きく関係しています。こうした気候変動を止めるためにも、温室効果ガスを減らす（緩和）対策を確実に進めていくことが大切です。

一方で減らす努力をしても、どうしても温暖化の影響を避けることは難しいとも予想されていることから、気候変動に順応していく（適応）対策を推進することが不可欠となります。

2015年11月に閣議決定された「気候変動の影響への適応計画」をはじめ、気象から見た地球温暖化の現状や東北地方の基幹産業である農業のこれからについてセミナーを開催します。

今後の気候変動に私たちはどう向き合わなければならぬのか、一緒に考えてみませんか？

日 時 2017年1月19日 (木)
13:30～16:50 (13:00 開場)

会 場 TKP ガーデンシティ仙台勾当台 ホール5
(仙台市青葉区国分町3丁目6-1 仙台パークビル3F)

参加費

無料

募集人数

100名
(要申込)

13:30～ 開会の挨拶

13:40～ 国の「気候変動の影響への適応計画」について

● 綱岡 孝夫 (環境省 地球環境局 総務課 気候変動適応室 環境専門調査員)

14:50～ 講演

● 「東北地方の気象の変化」

渕上 隆雄 氏 (仙台管区気象台 気象防災部 地球環境・海洋課 地球温暖化情報官)

● 「気候変動下の作物生産 一影響のしくみと対応一」

長谷川 利拡 氏 (国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構
東北農業研究センター 生産環境研究領域 農業気象グループ長)

16:00～ 質疑応答

主 催 環境省東北地方環境事務所

実施団体/お申込先 公益財団法人 みやぎ・環境とくらし・ネットワーク (MELON)
〒981-0933 宮城県仙台市青葉区柏木 1-2-45 フォレスト仙台 5F
TEL: 022-301-9145 FAX: 022-219-5710
E-mail: stop_gw@miyagi.jpn.org (担当: 吉田)

-- 講師プロフィール --



渕上 隆雄 氏

(仙台管区気象台 気象防災部地球環境・海洋課 地球温暖化情報官)

平成6年4月若松測候所に採用。以降、仙台管区気象台、名古屋地方気象台、気象庁地球環境・海洋部気候情報課などで主に季節予報（長期予報）に関する業務に従事。平成27年4月より現職。



長谷川 利拡 氏

(国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 東北農業研究センター 生産環境研究領域 農業気象グループ長)

平成2年九州東海大学農学部助手などを経て、平成28年9月より現職。
研究テーマ「作物の環境応答のモデル化。耕地生態系のしくみを理解して気候変動への適応を図る」

-- 会場アクセス --

・会場

TKP ガーデンシティ仙台勾当台 ホール5

・住所

〒980-0803 仙台市青葉区国分町3丁目6-1
仙台パークビル3F

・アクセス

仙台市営地下鉄 南北線 勾当台公園駅 徒歩1分



お申込み用紙

(申込締切 2017年1月17日(火)) *切らすにそのままFAXしてください

以下の欄に必要事項をご記入の上、FAX・メールにてお申込みください。電話でのお申込みも可能です。

※メールの場合は、メール本文に直接、必要事項をご記入ください。

ふりがな			
氏名			
所属			
TEL		FAX	
E-mail			

受付のご連絡を致しますので、3日経過しても連絡がなかった場合はお手数ですがお問合せ下さい。

ご記入いただいた個人情報は、本セミナーに関する事のみに使用いたします。